

Q. どんな仕事があるの？

A. 下水道処理施設の建設、維持管理、経営。また市町への研修を行ったり、普及、啓発活動も行っているよ。

Q. 下水処理した水は飲めるの？

A. 琵琶湖への影響を考慮して必要最低限の消毒に留めているから直接は飲めないかな。琵琶湖の水のほうが飲めるかもね(笑)

Q. どんな人がいるの？

A. 事務だけでなく、土木、化学、機械、電気とさまざまなスペシャリストたちが日々活躍しているんだ。

# 琵琶湖とともに

## 下水道の滋賀県ブランド



Q. 下水道ってみんな使ってるものじゃないの？

A. 下水道処理人口普及率は、滋賀県では92.5%。全国平均は81%で全員が使っているわけではないんだ。低いところだと30%台のところもあるんだよ。

Q. どうして琵琶湖環境部？土木じゃないの？

A. 琵琶湖と下水道は切っても切れない仲。滋賀の下水道は琵琶湖の環境と共に発展してきたんだ。

下水道に興味を持ってほしいな！

この道20年、技術職(電気)の松本参事にお聞きしました！

マンホールが飛ぶ？

滋賀県では近年のゲリラ豪雨の影響でマンホールが飛ぶ姿は見かけたことないですよ？

これは県や市町の下水道関係者が対策を重ね、下水の逆流が起こらないように日夜点検と改善を行っているからです。

雨 水は下水になるの？

滋賀県では、雨水は下水道を通りません。分流式を採用し、雨水は下水に流れず、汚水だけを下水管で運んでいます。

しかしながら、配管の設置ミスや下水管に穴が開いているなどで、雨水が入り込みます。滋賀県では、だいたい1割程度がそのような本来の下水ではない水(不排水)が流れています。これらの水を減らしていくことも下水道課の大切な仕事です。

きれいな水の裏側

浄化処理後は、取り除かれた汚泥が残されています。これは、従来であれば、乾燥させ、焼き切った灰としてコンクリートの資材にする、または廃棄していました。

これを、近年では、高島浄化センターでコンポスト化し、肥料として販売しています。ぜひ家庭菜園の肥料に使ってみてください。

その他、炭にして燃料として使用したり、その過程で発生するメタンガスを集めて、バイオ燃料として活用するNPGs活動も進めています。



教えて！新採職員！

下水道課に配属された感想は？



採用1年目山本技師

「大学で環境関係の勉強をしていたため、滋賀県のように環境意識の高い下水道事業に携われることに違和感はなかったです」

一番驚いた仕事は何ですか？

「カンボジアへの海外出張です。課長と訪問しましたが、英語は話せた方がいいと感じました。ちなみに、英語は、課長が対応して下さいました・・・」

「マンホールカード」はご存じですか？

淡海環境プラザで、滋賀県下の市町のデザインマンホールのマップを展示。また、デザインマンホールのカードも配布しています。滋賀県ではカンボジア王国シエムリアップ市デザインカードを配布したことも。意外にも収集家のマンホールに人気だったとか。

